

# 刈谷田川利活用検討委員会通信 vol.3

～市民、新潟県、長岡市、見附市が協働して、刈谷田川ショートカット部の利用構想を検討しています～

編集・発行／新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課) 発行日／平成21年5月25日

## 第3回刈谷田川利活用検討委員会の概要

“大きさや広さを実感しながらゾーニングをしてみよう”  
平成21年4月22日(水) 19:00～ 見附市今町公民館

第2回の検討委員会では、位置や広さなどの空間的な要素を視野に入れた検討を行なった結果、多目的広場や防災機能を持ったコミュニティ施設(仮称: 凧会館)を中心に整備イメージを膨らませました。また、この地域は凧がもともと関心の高いテーマであることをあらためて実感しました。

第3回の検討委員会は、前回、刈谷田川ショートカット部の図面に書き込んだ各班のゾーニング図を整理したうえで、図面と同じ縮尺のマグネットパーツを使い、さらに具体的なゾーニングの検討作業を行いました。



### ■プログラムと参加者

- ①開会のあいさつ
- ②参加者自己紹介(行政担当者が異動したことを考慮して)
- ③第2回利活用検討会のおさらい(結果の整理)
- ④ゾーニング・維持管理などの検討(3班に分かれてワークショップ)
- ⑤グループごとの結果発表とまとめ

市民委員13名(長岡市5名・見附市8名)  
新潟県長岡地域振興局4名、長岡市3名、見附市4名  
NPO 法人地域交流センター(事務局)3名  
新潟日報(取材)1名

## 検討委員会(ワークショップ)の結果レポート

### 前回のまとめと確認 (大まかなゾーニングの検討)

前回、3班に分かれて行なったワークショップの結果をパソコンでレイアウトし直したゾーニング図を見比べて、それぞれの図の共通点や違いなどの確認を行いました。これらの結果の共通点は、刈谷田川ショートカット部の北側(図の左側)部分に多目的広場を整備し、出来る限り広い敷地を確保することです。

また、凧会館(仮称)は、比較的多くの委員の皆さんが高い関心を持っています。グループ①では場所の特定をしていますが、建物の構造や多くの人々が利用できる施設にするための工夫などの話題に終始しました。グループ②ではミニ凧揚げができる広場として、その邪魔にならないよう建物を北西側に集めました。グループ③では幹線道路沿いから見える場所に建物があった方がよいとのことから広場の南側に集めています。

整備や維持管理はお金のかかることです。地域の夢と現実的なお金のことで揺れ動く場面も多くなってきましたが、方向性が見えてくるにつれて、施設利用の工夫や維持管理の体制について少しずつ議論されるようになってきました。



## 検討の進め方 (ゾーニングパーツの利用)

今回は一旦、施設や設備の細かい部分の検討を保留にして、違う角度からの作業を行なうことにしました。図面の縮尺にあわせた色々なバリエーションのパーツを利用して全員参加型で手を動かすことで、今までとは違った発見をしたり、大きさのイメージを実感、共有することを目標としました。また、グループ発表では、位置や大きさなど、作業を通じて感じたこと、検討結果の意図や経緯について話していただきました。



## ゾーニングのポイント

敷地の面積は約3haですが、扇型の形に加えて、道路の導線に影響されるため、例えば、サッカー場一面でほとんど潰れてしまうほどの面積です。また、一度に何枚もの風を製作できる風会館(仮称)であれば学校の体育館と同じ面積のパーツを置いてみれば、予想以上に広い敷地が必要なのがわかります。敷地内の施設や駐車場までの道路(幅6m)も工夫しなければ、かなりの面積を使うことがわかります。マグネットシートのパーツを何度も置いたり、はがしたりすることで、より現実的なスケール感を体験できると思います。



## 検討経過と発表内容

### グループ① 発表:飯塚さん

まず、色々な縮尺のものを置くと約3haの敷地は意外と狭いということがわかりました。やはり、広場を広く取るためには敷地の真ん中に配置することが重要です。駐車場は道路から近いところにあるほうが良いですが、最初、西側に駐車場を並べてみたところ、広場が狭くなるのでやめました。風会館の位置は、前回のグループ②の結果のように、風の向きを考えて北側にあるほうが良いように思いました。今町側の旧堤防を削って、一部だけ外周道路をつけてほしいという要望があると聞いていますが、そちらから駐車場に入れるようにしたら、敷地内に余計な道路をつくる必要がなくなるのではないかと思います。



### 風会館・駐車場

【風会館】中之島の人たちにも便利に利用してもらうためには、南側の橋に近いほうが良い/風の向きを考えると北側にあるほうが良い/駐車場と施設は近いほうが良いので基本的には北側に集める/工事によって地盤が安定している部分を選ぶ必要があるだろうか(特に必要はない)【駐車場】台数は120台分くらい必要(風合戦のときに駐車場がなく困っている)/南側の道路に近い場所にも数台分は必要/駐車場を敷地の端にもっていくことで敷地内に余計な道路をつくる必要がなくなる/今町側の敷地外周(旧堤防)に道路をつくる要望があるので、そこから駐車場に入れるようにすればよい

### 市民の憩いの場

【広い敷地側(北)の南部分】市民が気軽にバーベキューを楽しめる設備が欲しい(木陰、炊事場、四阿など)/バーベキュー広場があると他所からの来訪者も立ち寄るようになる/子ども達の遊具をバーベキュー広場の近くに設置する(子どもが飽きないように)/こんもりとした小山(築山)をつくる/バーベキュー広場の近くに駐車場が必要になる/【刈谷田川】川まで安全にいけるような道や階段をつくって昔のように魚釣りを楽しめるようにしたい

### 散策道・桜並木・その他

【敷地の外周全体】外周全体に木を植えて森のようにする/ぐるっと散策できるように遊歩道をつくる/桜並木をつくって桜の名所にしたい/【川沿いの敷地】実際は意外と広い場所なのでここにも木を植えたい/【ヘリポート】災害のときに出勤する救助ヘリは意外と大きいので専用のヘリポートをつくと大変/災害のときだけ広場の一部をヘリポートにすればよい

## グループ② 発表:佐藤さん

凧会館は大凧の製作と月に1回程度の凧上げ体験会ができるためのメイン施設として、広い敷地側の北側につくってはどうかという結果になりました。駐車場はメイン施設と一体にして、ここで青空市のようなものを出来るようにしたいです。その反対側(南側)にも駐車場をつくり、敷地の外周全体をぐるっと回れるように散策道をつかって、所々にベンチや花壇をつくってはどうかと思います。また、道路で敷地の北側と南側が分断されていますが、トンネルを通して南側と行き来できるようにしたいという話ができました。



### 凧会館・駐車場

【凧会館】大き目の施設として50m×37mの体育館規模の施設をつくる／子どもがボール遊びも出来たり、写真の展覧会なども行える施設にする／【駐車場】メイン施設に隣接する場所と敷地の反対側に2箇所をつくる／他所から観光バスを呼び込むという考えよりは地域の方が気軽に集える場所としての駐車スペースを整備／軽トラ市、フリーマーケット、青空市などが開催できるように工夫する(商店の参加が必要)

### 散策道・木や花

施設の周辺に桜などの並木を植えて散策路を整備する(ソメイヨシノに限らず四季折々の花や紅葉が楽しめるよう植樹)／桜の里親制度の提案を行なう／所々にガーデニング、花壇を作り、地域住民などで管理する／散策道沿いに四阿やベンチを置く／健康ウォーキングコースとして位置づける(散策道沿いに一定間隔で距離表示する)／刈谷田川と道路に挟まれた敷地にも並木と花壇をつくり散策道にする

### その他

【祈念モニュメント】メイン施設の近くの川側に作る(水害の記憶を風化させないため、次の世代に語り継ぐための拠点として)／【遊び場・築山】子どもが遊べる場所として多少の遊具やスキも出来るような築山をつくる(近所の保育園の園児が遊べるように)／【トイレ】メイン施設内の他、対角線上に1箇所、三角地に1箇所設置(メンテナンスの問題があるので、どちらか1箇所という考え方も)／【南側】三角地は芝生とグラウンドゴルフが出来る場所として整備する／【ヘリポート】メイン広場は自由度が高く使えるようにしてヘリポートも兼ねる

## グループ③ 発表:五十嵐さん

サッカー場などの大きさと比べると、思っていたよりも敷地が小さく感じました。凧会館の場所は、大通りから目に付きやすいメインの敷地の南側が良いと思います。施設はできるだけ集約したほうが良いですが、凧を製作した展示もするとすれば、かなりの規模が必要になります。駐車場は50台分程度は必要で、観光バスも入れるようにしたいです。凧合戦のときはいつも駐車場の場所に困っています。今でも川沿いを散歩する人が多いので、敷地全体を周遊できる遊歩道をつくったら良いと思いました。ヘリポートは駐車場と兼用にしてはどうかという意見もあります。



### 凧会館・駐車場

【凧会館】凧を作る場所と展示する場所を分けるのはどうか／普段は防災拠点倉庫と位置付けるのはどうか／凧を作る場所が本当に必要かを中之島、今町で凧を作っている人たちに確認する必要がある／凧の製作と展示となれば、少なくとも30m×30m+αの規模が必要／予算が確保できて2階建てにできればベスト(2階=凧の製作・1階=道の駅的な施設)／必ずしも凧の六角形にこだわる必要はない／【駐車場】舗装駐車場は凧会館の近くに50台程度のものを／凧合戦などのイベント時には、道路沿いの敷地や南側の三角の敷地を臨時駐車場とする(普段は駐車できない芝生の広場)／南側の三角の敷地を臨時駐車場とするために、この敷地への自動車のアクセス道路を確保する必要がある

### 南側敷地・散策道

【南側の三角の敷地】多目的広場(グラウンドゴルフなど)として整備する／グラウンドゴルフ専用ではなく皆が使える広場にする／どのくらいの頻度でグラウンドゴルフをするのかを把握する必要がある／【遊歩道】トンネルや橋の下を通して南側の敷地まで回遊できるように／川沿いの細長い敷地までの歩行者のアクセスが必要(もしくはぐるっと一周回って川沿いを抜けていくようなルートでもいい)

### ヘリポート

建物の近くにヘリポートは設置できない／凧会館の近くに駐車場を配置するプランでは駐車場とヘリポートを兼用させることは難しい／特にヘリポートとしてしっかりしたものをつくらなくても多目的広場を緊急時のヘリポートとして位置づけるのもいいのではないかと



## 総括と今後の予定

今回の検討を通じて、最初に漠然と思っていた広さよりも「3haは意外と広くない」ということが実感できたと思います。以下の写真は各グループのゾーニング計画の結果ですが、利活用の大きな柱となる「多目的広場」は、前回と同様に、3グループとも中央に出来るだけ広い面積を確保するようなゾーニングになっています。また、敷地外周には緑豊かな散策道、桜並木があり、凧合戦やイベントのときには駐車場が足りないとのことから、概ね100台分前後の駐車場が必要という点が共通の方向性になっています。一方、凧会館（仮称）や駐車場などの配置については、グループ①と②が非常に似通った結果となりました。



以上の「ゾーニング計画暫定案」は3つのグループで検討した結果を調整した暫定配置計画です。円で囲まれた部分（凧会館・駐車場など）はグループによって配置位置が異なりますが、グループ①と②の結果を仮配置してあります。その他の検討結果については、細かい部分の違いはあるものの概ねこのような方向性で一致しています。

次回、第4回の検討委員会の開催は、8月27日を予定しています。刈谷田川ショートカット部の工事が着々と進んでいる状況ですが、委員の皆さんの中には、じっくりと現場を見たことがない方もいます。そこで、あらためて検討区域のスケール感や風景を立体的に把握するため、現地見学会も同時開催する予定にしています。

本件についてのお問合せ先



新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課)

〒940-8567 新潟県長岡市四郎丸町 173 番地 2 TEL:0258-38-2614 FAX:0258-38-2627